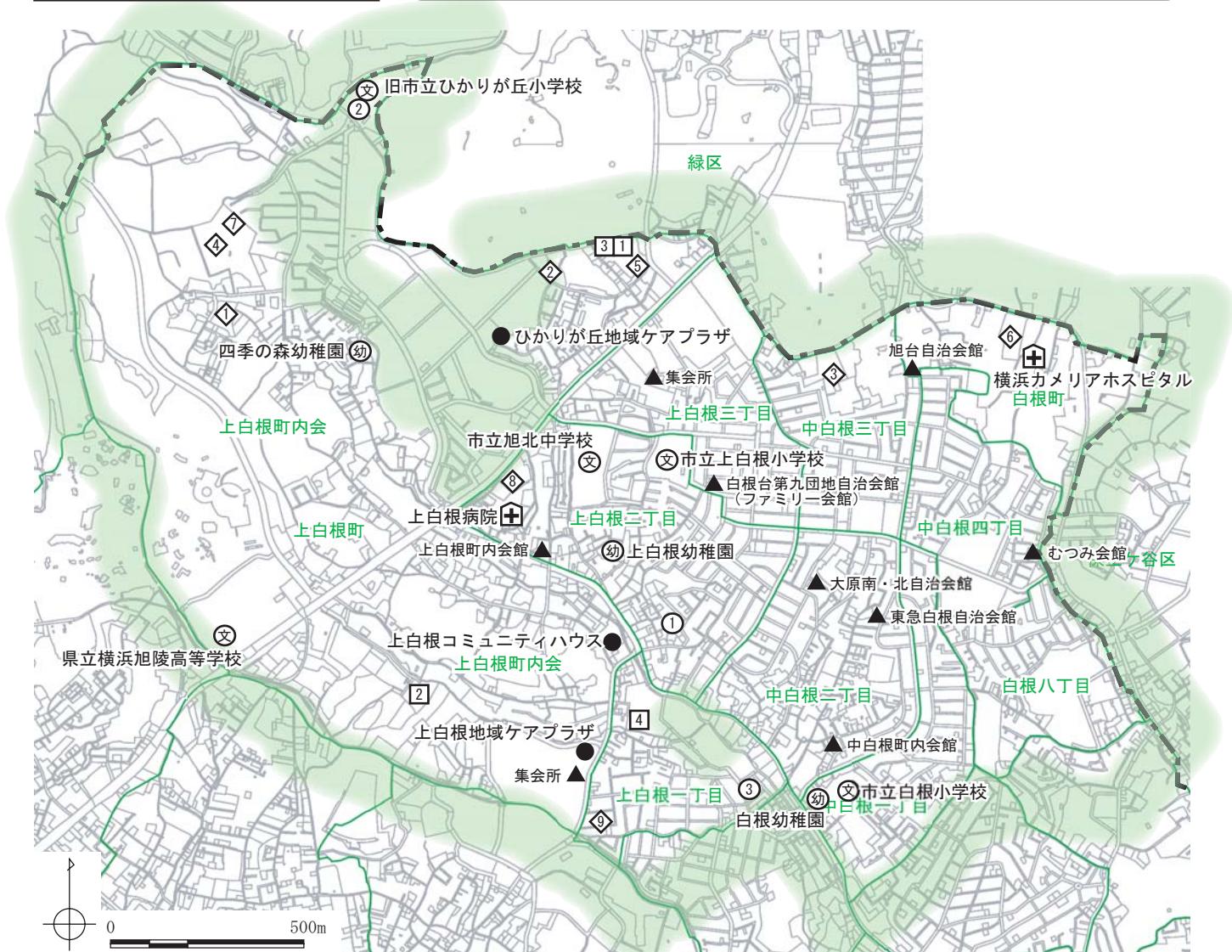


旭北地区



旭北地区は、中堀川沿いの丘陵地に開け、戸建て住宅（三菱、東急系多し）と公営住宅、マンションが混在する住宅地です。また、市街化調整区域も多く緑豊かな地域でもあります。



実際の地区範囲は、町・丁目単位とは限らず地図上に正確に表すことは困難なため、
およその範囲で表現しています。地域の状況を把握するための参考データとして
お取り扱い下さい。

背景図：横浜市都市計画基礎調査

地区担当：上白根地域ケアプラザ

地域の福祉保健施設

子ども

保育園

- ① 土と愛子供の家保育所
- ② 土と愛子供の家保育所第二

親と子のつどいの広場

- ③ おやこサロンめだか

高齢

特別養護老人ホーム

- ④ サンライズヒル横浜
- ⑤ 椿寿
- ⑥ グリーンライフ
- ⑦ ヴィラ横浜

介護老人保健施設

- ⑧ 四季の森
- ⑨ リハセンターさわやか
- ⑩ ケアホーム横浜

障害

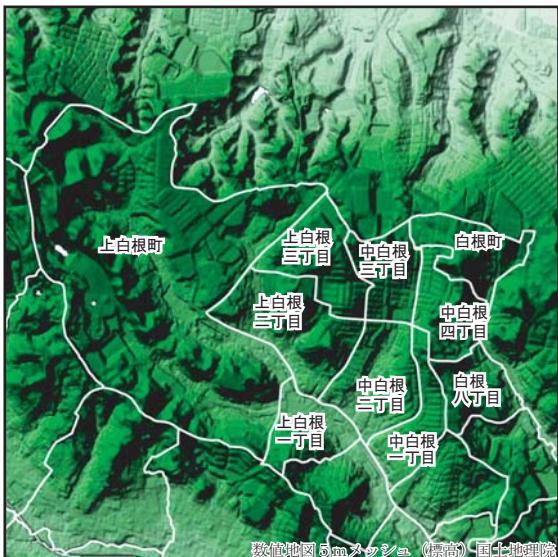
障害者支援施設

- ① 偕恵
- ② しらねの里
- ③ 偕恵シグナル
- ④ 辻のあかり

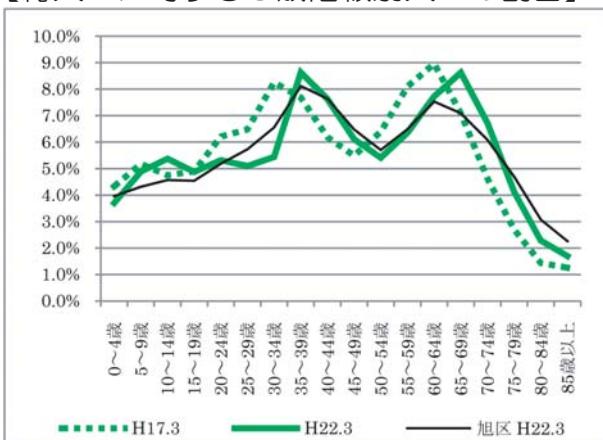
障害福祉サービス事業所（日中活動）

- ⑤ 上白根園
- ⑥ 小規模多機能型居宅介護
- ⑦ ふれあいの里 たちばな

【地区周辺の地形】



【総人口に対する5歳階級別人口の割合】



*人口データは町丁目単位までしか集計されていないため、一つの町丁目が複数の地区にまたがっている場合は、所属面積の大きい地区に含めて作成しています。しかし、上白根町は上白根地区的データとして使用しているため、所属面積にかかわらず旭北地区のデータには含めていません。したがって、上記データは地域の概況を把握するための参考としてお取り扱い下さい。

地区データに見る特徴

- ・中堀川の上流域一帯を構成する地区です。
- ・団塊の世代およびそのジュニア世代が突出する人口構成は区の平均像に似ていますが、団塊の世代の比率はより高くなっています。
- ・総世帯数は若干増加、総人口は若干減少で、人口構成にはこの5年間に大きな変化が見られません。すなわち流入出は比較的小さいと想像されます。
- ・その結果、高齢者人口は35.8%増加し高齢化率も6.3ポイント増加した一方で、生産年齢人口は9.7%減少しました。
- ・生産年齢人口の中でも20歳代から30歳代にかけての減少が目立っています。

【世帯数及び人口】

	H17.3 (総数比)	H22.3 (総数比)	H17-22 増減比率
総世帯数	7,328世帯	7,600世帯	+3.7%
総人口	19,004人	18,815人	-1.0%
0~14歳 (内、0~6歳)	2,709人 (14.3%)	2,627人 (14.0%)	-3.0%
15~64歳	13,047人 (68.7%)	11,776人 (62.6%)	-9.7%
65歳以上	3,248人 (17.1%)	4,412人 (23.5%)	+35.8%

住民基本台帳及び外国人登録人口合計（中白根一丁目・二丁目・三丁目・四丁目、上白根一丁目・二丁目・三丁目、白根町、白根八丁目）

旭北地区の活動情報

(平成22年9月末現在)

子育て地域サロン 「旭北中親子で遊ぼう会」 毎月第3木曜日（8月は休み） 場所：旭北中視聴覚室 親子で気軽に集い、交流する場です。	子育て地域サロン 「竹っこくらぶ」 毎月第1火曜日（8月は休み） 場所：グリーンヒル上白根集会所 親子で気軽に集い、交流する場です。	地域サロン 「旭北ふれあい お茶のみサロン」 毎月第4火曜日 場所：中白根町内会館 地域の皆さんが気軽に集い、交流する場です。	地域サロン 「上白根お茶のみサロン」 毎月第4火曜日 場所：上白根町内会館 地域の皆さんが気軽に集い、交流する場です。
親と子のつどいの広場 「おやこサロンめだか」 毎週月、火、水、金曜日 場所：上白根1-2-1 NPOたちばな福祉会 横浜市の委託を受け、旭区内3館目の親子支援広場です。	「横浜市一人暮らし世帯等 安心生活支援モデル事業」 一人暮らし高齢者や障害者等の世帯を対象として「定期的な見守り」や「買物支援」などのサービスを提供する取り組みを行っています。 問合せ NPO法人たちばな福祉会	地域サロン 「お茶のみサロン」 毎月第3土曜日 場所：上白根地域ケアプラザ 地域の皆さんが気軽に集い、交流する場です。	地域リハビリ教室 「旭北むつみ会」 毎月第2・4木曜日 時間：14:00～16:00 場所：上白根地域ケアプラザ 脳血管疾患等で中途障害のある方が集まり機能訓練や交流をする場です。
食事サービス 「旭北第一ふれあい昼食会」 毎月第3火曜日 場所：旭台自治会館 高齢者等を対象に、昼食会などを行っています。	食事サービス 「旭北第二ふれあい昼食会」 毎月第2木曜日 場所：上白根地域ケアプラザ 高齢者等を対象に、昼食会などを行っています。	食事サービス 配食グループ「にんじん」 毎週火曜日 場所：上白根地域ケアプラザ 高齢者等を対象に、配食を行っています。	町ぐるみ健康づくり教室 「旭北地区（あさがお） 町ぐるみ健康づくり教室」 毎月1回 場所：グリーンヒル上白根 グランドゴルフ、気功などを通し健康づくりを行っています。
食事サービス 「旭北第三ふれあい昼食会」 毎月第2火曜日 場所：上白根コミュニティハウス 高齢者等を対象に、昼食会などを行っています。	食事サービス 「旭北第四ふれあい昼食会」 毎月第1火曜日 場所：東急白根自治会館 高齢者等を対象に、昼食会などを行っています。	食事サービス 配食グループ「すみれ会」 毎週水曜日・金曜日 場所：上白根地域ケアプラザ 高齢者等を対象に、配食を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域には他にも様々な活動があります。 ・活動についてのお問合せは、 上白根地域ケアプラザ 旭区社会福祉協議会 へお気軽にどうぞ。

メインテーマ

ふる里まちづくり

ふる里まちづくりの基本活動として、4つの目標（スローガン）を掲げ、取り組みを進めました。

4つの目標と活動の振り返り

- ## ● 都会の中のふる里づくり（ふる里づくり推進委員会）

- ・盆踊り、文化祭（創作展）、スポーツフェスティバル、社協大会（演芸会）等の「ふる里まつり」を実施し、地域のあらゆる世代にとってのふる里づくりを図っている。
 - ・公園愛護活動を通じて、地域のランドマーク作りに取り組んでいる。
 - ・学校と地域の連携活動による小中学生との交流を図り、健全な育成に取り組んでいる。



(社協大会 (演芸会))



(中堀川清掃活動)



(盆踊り)

(見守りカード)

- 防犯防災対策の進んだまちづくり（安全安心推進委員会）

- ・災害時要援護者の支援体制作りを推進
(あんしんカードの作成)
 - ・災害時及び日常の要援護者への支援方法に関する資料を作成。
 - ①災害時支えあいガイドライン(小冊子)
 - ②日常の見守り要領及び「見守りカード」



(災害時支えあいガイドライン)

- 安心して子育てができるまちづくり（子育て支援委員会）

- ・旭北社協の活動の中に子育て支援委員会（A2ライン）が活動に目的を達成している。
 - ・平成21年5月より横浜市の委託を受け常設の親子支援広場「メダカ」を開設。
 - ・旭北中学校での親子で遊ぼう（月1回）。
 - ・グリーンヒル集会場での竹っこクラブ（月1回）。



(竹っこクラブ)

- 地域全体が支え合えるまちづくり（高齢者・障害者支援委員会）

- ◆高齢者・障害者の引きこもり対策と助け合い活動
・ふれあい昼食活動（旭北第1会場～第4会場）。

- #### ・ふれあいサロン活動(中高齢者と健康づくり活動)

- ・健康づくり教室(月1回・グリーンヒル)。
 - ・グランドゴルフ大会(年2回)。
 - ・旭北地区ふる里まつり社協大会(年1回・11月)。
 - ・旭北地区ふる里まつり文化祭の開催

- △北地区ふる里よみヶ文化祭
◇二人暮らし高齢者の見守り活動

- ・平成22年1月より横浜市一人暮らし世帯等安心生活支援モデル事業の指定に向け活動開始。同時に家族等の事情により期待できない高齢者のために、地域活動法人NPOたちばな地域サポートセンターの活動を本格的に開始する。



(ふれあい昼食会)

地区での検討

平成22年5月に開催した旭北まちぐるみ福祉推進会議において、4つの委員会（ふる里づくり、安心安全、子育て支援、高齢者・障害者支援）を設立し、部門ごとにこれまでの取り組みを振り返るとともに課題を抽出し、その課題解決に向け第2期計画の方向性をまとめました。



(旭北まちぐるみ福祉推進会議)



(地域交流講演会)

地域の強み

- 比較的広いエリアと自然環境・教育環境に恵まれている。
- 地域の活動への関心が比較的高い。
- 地価は比較的安い。

現在の課題

- 広範な地域の拠点（寄り合いの場）を拡充する必要がある。
- 交通の便の改善が必要。
- 高齢者や児童の交流は進んできたが、壮年・青少年（中高生）の参画がない。
- 保育所（幼稚園）の充実が必要。

5年間の重点取り組み（計画）の方向性

4つの目標	取り組みの方向性
都会の中のふる里づくり (ふる里づくり推進委員会)	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる世代にとって魅力ある“ふる里づくり”を目指す 現状の活動の継続と発展（青少年と協働、出前商店等） 公園、コミュニティハウス、各自治会館、空き家等の施設拡充と活用及び水辺施設の拡充で、寄り合いの場（ランドマーク）づくり バス路線の増設と地下鉄計画の推進 スーパー等の増築
防犯防災対策の進んだ 町づくり（安全安心推進委員会）	<ul style="list-style-type: none"> 防犯の先取りを行うことによって、安心して子育てできる子育て支援や、高齢者も安心して住める犯罪の無い町づくりに取り組みます 災害時要援護者の実態把握と災害時のしくみづくり 災害時の救援体制作り（防災あんしんカード活用） 地域防災拠点の支援体制づくり
安心して子育てができる 町づくり（子育て支援委員会）	<ul style="list-style-type: none"> 子育てがしやすい町づくりのためのさらなる親子広場の拡充 育ち盛りの子供達の居場所作りと1人親世帯の子供の支援 子供会の組織の見直しとブロック別子供会の設置 働きながら子育てができる職場作り等の環境づくり 保育所の設置（行政委託も含む）の推進
地域全体が支え合える町づくり (高齢者・障害者支援委員会)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人々が歳をとっても、たとえ障害を持ったとしても高齢者施設等に頼らず、住み慣れた地域の家で自分らしい生き方、生活を送りたいという自然な願いを実現するために活動します 一人暮らし高齢者は元より高齢者世帯、障害者世帯の見守り活動等の支援を積極的に行います 高齢者の生存不明問題又孤独死、孤立する高齢者、障害者を支援するためにも、お節介活動を無理なく進めています 地域の介護事業者、特に居宅介護支援事業者との連携を密にして、自治会、町内会、民生委員が一体となって見守り活動を進め、地域全体が有料老人ホームであってもよい生活環境を作り出すサービス